



# 記念樹

発行者  
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5  
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2012年1月15日 Vol. 97

## 年頭の辞

新年明けましてお芽出とうございませう。

新しい年の初めと皆様方いかがお迎えでしょうか。



先の大震災の災害を思い起こすと中々に新春を寿ぐ気持ちにはなりません、思いを新たにし復興への誓いを強くして、新しい門出として祝いたいものと思っています。

昨年三月十一日、東日本を襲った大地震と大津波。被災後十ヶ月も経ったというのにまだ水や電気もままならぬ所があると聞きます。雪空のもとで起こった災害、そしてまた雪の季節。九州の地にあつては遅々として進まぬ復興に腹立たしい気持ちと申し訳ない気持ちで一杯です。

また、同時に起こった原子力発電所の爆発事故は何時果てるともない被害を撒き散らし、新たに報告された情報を見ると日本全体に被害が及び、この後どのような展開になるのか考えも及びません。

日本中の人々が放射能汚染を気にし、食の安全のために毎日の食材選びを個人がそれぞれに考えなければならぬという大変なことになっています。

この困難な時代をどう生きればよいのか。困難であればある程、勇気を持って立ち向かわねばなりません。

昨年十月四日に百歳の誕生日を迎えられた聖路加国際病院理事長・日野原重明先生の記念会が伊勢市で行われました。その時の日野原先生の講演は「夢(ビジョン)を天空に

画く―新たな日本の再生と創造―」でした。

この逆風の中をいかに生き抜くかという命題に、逆風の中を風上に向かって進んでゆくことの出来るヨットの動きが教えてくれると論されました。

ヨットは逆風でも重心を移動し、帆と舵で斜めにジグザグに進めば、風に向かって海を乗り切っていくことが出来る。逆風が吹いても上手に処理すれば、船を正しい方向に進ませることが出来る。

また日航機が落ちた時、三十才の男性が奥さんに手紙を書いて、結婚が楽しかった、子供を頼む、貴女を愛していたというメッセージを残したが、このことを外国の記者がこれこそ勇敢な人と称えたという話を引用して、私達には勇氣ある行動が必要であるとも教えられました。

その際に大切なことは、ギリシャの哲学者プラトンの国家論に示された四つの徳①英知、②正義、③自制心、④勇氣をどのような時に発揮できるかが重要であると話されました。そして日野原先生が好きといわれる「天空に画く百歳の夢」。私達も「新たな日本の再生と創造のビジョン」を天空一杯に画いて再生日本に向かって新しい一歩を踏み出したものと思っています。



### 医療法人 大分記念病院

#### 基本理念

- 1) 私達は病院各部門が一致協力して、患者中心のチーム医療を実践することにより、患者満足度と幸福に貢献します。
- 2) 私達は常に診療レベルと看護ケアの向上を図ると共に地域住民に安全で良質の医療を提供します。
- 3) 私達は地域の医療・福祉機関との緊密な連携を保ちながら地域完結型医療を実践します。

#### 基本方針

- 1) 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた医師による全人的医療を患者の皆様に提供します。
- 2) 患者の皆様の立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
- 3) 患者の皆様の満足度を高めるべく、心のこもった医療サービスに努めます。

## 国連の新しい健康対策

国際連合は2011年9月19、20日にアメリカ、ニューヨーク市、国連本部で行われたハイレベル会議で新しい世界の健康対策を決定しました。

世界を破滅に陥れた第二次世界大戦後、世界を大きく揺るがしていた病気は結核、マラリア、住血吸虫症など人から人へうつる病気でした。日本では結核は国民病と呼ばれ、死亡原因の第一位となり死病として恐れられたものでした。しかし、さしもの結核も



リファンピシンという新薬の出現で、治る病気になりました。マラリアや住血吸虫も同様予防法や薬が開発され、治療可能な病気になりました。最後に残ったのがエイズです。

しかしエイズも人間の素晴らしい英知により治療薬の開発、予防法の確立など大きな進歩が見られています。昨年10月23日午前11時30分に国連(UN AIDS)より報告されたデータは、この10年間に世界で新しくエイズウイルスに感染した人は19%減少し、世界を震撼させたエイズもその鎮圧にめどがついたという勝利宣言でした。

その勝利宣言を受けて、国連が新

しく決定した健康対策はがんの制圧です。感染症について一定のめどがついた今、世界の脅威となっている病気はがんや心筋梗塞、糖尿病、慢性呼吸器疾患など人から人へは移らない病気、非感染性疾患(NON COMMUNICABLE DISEASES・NCD)と、2008年に世界で亡くなった5700万人のうち3600万人(63%)がNCDによるとされています。

これらの病気に最も大きな関連があるのが喫煙であることは周知の事実で、喫煙対策が新しい国連の健康対策の柱になります。ちなみに国連の掲げた健康に関する危険因子は次の四つとされ、この四つの危険因子を避け

ることに健康対策の重点が置かれることとなります。①喫煙、②不健康な食事(飽和脂肪酸・砂糖・塩分・過大な脂肪摂取)③有害なアルコール摂取、④身体的不活発。

言い換えれば、禁煙、青果物、魚を食べ、飽和脂肪酸を控え、塩分は5g以下に制限、過剰なアルコール摂取を止め、若いときから活発な運動をするようにということです。

中でも禁煙は最大の目玉。私達も禁煙の啓発啓蒙に更なる努力をせねばならぬと思っています。ごうご協力をお願いします!!



ZERO 新たな感染 ゼロ  
ZERO 差別 ゼロ  
ZERO AIDSによる死亡 ゼロ



# 紫色蓄尿バッグ症候群 P U B S S

一般病院、介護老人施設、老人ホームや在宅で療養されている方の中で、いろいろな原因で長期にわたって膀胱にバルーンカテーテルを留置することが行われています。膀胱に留置されたカテーテルと蓄尿バッグの色が紫色に変色しているのに気づき、びっくりされたことはないでしょうか。医療従事者でも勤務形態次第では見たことがない方もいるかと思えます。

この現象の特徴は、膀胱カテーテルと蓄尿バッグがきれいな紫色やピンク色に変色しているにもかかわらず、尿の色は紫色やピンク色に染まっていないことだ。

## 原因はなぜでしょう

原因はある種の細菌感染によりおこります。大便中に存在している必須アミノ酸であるトリプトファンが腸の中で腸内細菌によりインドールに分解されます。これが血液中に吸収されると有害であるため、肝臓で無害なインジカンに代謝され、最終的には尿中に排泄されます。それに尿路感染が合併していると、尿中の細菌によりインジカンは加水分解を受けインドキシル



に変換されます。インドキシルは融合や酸化により青色のインジゴ青（インジゴ）や赤色のインジゴ赤（インジルビン）に変化します。これらの反応には、いずれも細菌の関与が必須です。インジゴ青やインジゴ赤は、蓄尿バッグや接続カテーテルの素材であるプラスチックポリマーに付着しやすく、インジゴ青やインジゴ赤の付着量の比率により紫色からピンク色までの変化で着色されます。尿の色には変化は起こりません。

## 紫色蓄尿バッグ症候群の対処法

尿路感染、便秘と長期の留置カテーテル状態で起こる現象なので、感染防止、便秘の改善を図る必要があります。対処法としては、まずは感染を起こさないことが一番でカテーテル留置する際の清潔管理を徹底することが大切です。



起こった場合には水分の摂取や細菌感染に対する抗生剤が考えられますが、発熱など顕性の尿路感染症がない場合は必要ありません。抗生剤の使用はかえって耐性菌の発生を招くためおすすめできません。大切なことは可能な限り長期の留置カテーテルを避けることです。

## 長期の膀胱カテーテル留置について

前立腺肥大症などによる尿路閉塞や脊髄疾患、脳梗塞後遺症などによる神経因性膀胱のため排尿障害を生じ、自己導尿が困難な場合には必要不可欠のこともあります。また高齢や

認知症により頻尿、尿漏れや尿意が失われ排尿をおむつで行うことがありますが、尿の刺激で褥瘡や皮膚感染の原因になるため、膀胱カテーテルの挿入が行われていることもあります。一般病院でカテーテルの留置が開始され退院後もその状態が続いているケースも多くあります。

日本ではおむつの使用頻度やカテーテルの留置頻度が高いと報告されています。カテーテルの留置は介護の手間が省け便利但也有りますが、尿路感染、膀胱結石、膀胱萎縮、抜去困難や尿道皮膚瘻などの合併症のリスクがあります。留置カテーテルを長期にしていると離脱が困難となってくるので、早い時期での抜去の検討が大切です。

また大事なことは、長期の留置はおむつの使用と同様に身体能力の低下や寝たきり状態の誘発など日常生活の質の低下を招くこととなります。おむつや留置カテーテルを積極的になくし、自然排尿ができるよう持つていく努力をされている施設もあります。が素晴らしいことです。

膀胱留置カテーテルの使用については、専門医の意見を聞いて必要最低限に行うことが大切です。





### 永年勤続表彰者

大分記念病院創立31周年の記念式典が、昨年12月1日(木)当院の多目的ホールで行われました。まず始めに豊田理事長から挨拶があり、病院の年譜をスライドを交えて説明されました。引き続き、今年度の永年勤続者25名の表彰が行われました。永年勤続表彰者は以下の通りです。(敬称略)



#### 15年勤続(2名)

三浦幸子(看護部)、板倉香代(医療事務課)

#### 10年勤続(8名)

宮森加奈子、金子則子、伊東美沙(看護部)、栗尾加枝(医療事務課)、宮川由香(事務課)、伊東容子、渡辺久美子、佐藤さおり(竹田クリニック看護部)

#### 5年勤続(15名)

甲斐夕加里、山崎真由美、中島 愛、板井沙貴、塩地和代、大石久美子、福田照美、後藤美代子(看護部)、川口理恵(薬剤科)、甲斐めぐみ、尾本とみえ、坂本浩子、能都滋子(栄養科)、後藤めぐみ(竹田クリニック看護部)、高橋紀子(竹田クリニック事務課)



受賞者を代表して、医療事務課の板倉香代さんが謝辞を述べました。最後に、昨年6月11日以降に入社した佐藤美香さん、山室由紀子さん(看護部)から自己紹介の一言スピーチがあり、無事式典は終了しました。



## 講演

## 現場実践に活かす「臨床倫理」の考え方 —倫理的ジレンマを「個人の悩み」にしない組織づくりのために—

講師 板井 孝彦 先生



9月30日(金)の定例研修会は、宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学分野教授の板井孝彦先生をお招きして講演をしていただきました。

以下は板井先生に執筆していただいた講演の抄録です。

× ×

今日、医療現場において「倫理」は不可欠な要素となっています。安全管理業務はもちろんのこと、医療の質向上など病院機能評価をはじめとする医療マネジメントを考える上でも、今や「倫理」は欠かせない時代となりました。

では、医療現場における「倫理」問題というのは、医師や看護師など医療スタッフ側の、いわゆる「道徳性(モラル)」の問題であるか、ということ実はそんなに単純ではない、と言わざるをえません。例えば、終末期医療と呼ばれる場面において直面することになる「延命治療の差し控え・中止」という問題は、現場の医療スタッフにとっては重大な臨床決断を迫られる深く、悩ましい倫理的問題です。臨床の現場では、「自己決定権が大切」と言われても、正直なところ何をどこまで尊重すればいいのかははっきりしない。実際の臨床現場では、患者さんご自身が判断能力を失っていたり、あるいは不安や心配事で頭がいっぱいで「自己決定」することができないケースも少なくありません。そして結局、「倫理は大事だとは思うけれど、でも臨床現場ではどう活かせばいいのか、わからない」と思うようになり、さらに日々の仕事をこなすのに精一杯という忙しさの中で、「何かおかしい気はするのだけれど、でも、そんな気持ちに目を向ける余裕もないし、そんなことしたら自分が倒れてしまう」という精神的にもギリギリの状態の方も決して少なくないのが現場の実情ではないでしょうか。

医療専門職に求められる倫理性ということを考える上で、

医療スタッフ個々人の「高潔なる人格性」ということに期待するだけでは、臨床現場における倫理問題に対処することはできないばかりか、そのことがむしろ真面目で責任感の強い医療スタッフほど、倫理問題を独りで抱えこんでしまい自分だけで解決しようとする結果、バーン・アウトさせてしまうリスクもあります。確かに「共感的姿勢で善意から患者に接する」という医療専門職の「道徳性(モラル)」は重要なことです。しかし、同時にそこには大きな「落とし穴」があることに留意しなくてはなりません。実は、ひとりひとりの医療専門職が「患者のために高潔なる人格性を高め、献身的・自己犠牲的に努力する」ことを要求する「倫理」観こそが、かえって責任感のある医療スタッフほど倫理的問題を自分独りで解決しようと抱え込み、「独善」に陥る傾向性を助長するリスクを高めてしまう、ということなのです。

医療現場の倫理問題に対処するためには、倫理的ジレンマを「個人の悩み」にせず、「複数の医師及び看護師等が連携して対応を決めていくことのできる体制の確立」を組織的に実施することが不可欠なのです。「倫理カンファレンス」を開くことで、エビデンスに基づいた医学的適応に関してチームで議論を交わしながら、安全管理上必要な呼吸管理や抑制についても話し合い、あるいは患者さん自身の治療に対するニーズやQOL、さらにはご家族の状況や経済的問題などについても、医師や看護師のみならず、OT、PT、MSW等の他職種による情報共有を図りながら「チーム医療」を実践すること、それが「臨床倫理」の取り組みそのものだという事です。

したがって、「臨床倫理」とは何も「特別なこと」ではなく、「医療の質」向上を目指し、患者さんにとって「安全」かつ「最善」の医療を提供しようとする、各病棟レベルでの医師や看護師などの病棟スタッフの医療実践そのものが「臨床倫理」なのである、ということ、まず管理職が理解しておくことが大切だと言えるでしょう。





## 講演



## 「転倒防止に向けた当院ころばん隊の活動とその成果」



講師 佐藤 浩二 先生

11月10日(木)の定例研修会は医療安全に関する職員教育ということで、湯布院厚生年金病院リハビリテーション部部長の佐藤浩二先生をお迎えして、「転倒防止に向けた当院ころばん隊の活動とその成果」と題して講演をしていただきました。

病院内での転倒、転落は、患者さん、スタッフ、環境、システムなど様々な要因が絡み合って起こります。厚生年金病院で転倒防止のために結成された「ころばん隊」の組織横断的な活動と成果について、具体的にお話をさせていただきました。セラピストによる「夜回り隊」の活動や「患者モニター」の任命など、ユニークで実践的なチームの取り組みには大変感銘を受けました。

この研修で学んだことを活かし、当院でもチームによる転倒、転落防止に取り組んでいきたいと思えます。佐藤先生、お忙しい中での貴重なご講演を本当にありがとうございました。(文責 佐藤恵美子)



## うれしの茶風呂と佐賀の旅



今年度の職員旅行は、10月第3週、第5週の週末を利用して2班に分かれ、佐賀方面へ出かけました。

初日は昼過ぎに病院を出発し、夕方には嬉野温泉「茶心の宿 和楽園」に到着しました。和楽園では露天風呂に特産の「うれしの茶」をたっぷり加えた茶風呂があり、ほのかなお茶の香りに包まれながら日頃の疲れをとることが出来ました。

夜になると恒例の宴会がスタート!季節の食材や佐賀牛などをつかった色とりどりの会席料理を堪能しつつ、カラオケや談話を楽しみ大いに盛り上がりました。

2日目は、朝から名物の温泉湯豆腐や茶がゆなど趣向を凝らした食事を美味しくいただいた後、祐徳稲荷神社へ出発し皆で参拝しました。神社には京都の清水寺そっくりの舞台があり、そこから一望できる壮大な景色に思わず圧倒されました。

その後「有田ポーセリングパーク」に向かい、施設内にある「のんのこの郷」でバイキング形式の昼食をとりました。施設には有田焼体験工房の他、有田焼の器やお酒などを販売している店もあり、食事以外でも楽しむことが出来ました。

そして旅の最後に「鳥栖プレミアム・アウトレット」でショッピングを楽しみました。カリフォルニア州南部の美しい街をイメージした施設には、ブランド物の衣類や日用品など様々な店舗が120店以上並んでおり、それぞれ見て回っているとあっという間に時間が過ぎていきました。皆たくさんの買い物袋を提げて帰路に着いたのでした。

今回、両班とも温泉や買い物を満喫してリフレッシュすることが出来たようです。職員同士の交流も深まり、大変充実した旅行となりました。







## がん患者支援チャリティーイベント リレーフォーライフ in 大分

リレーフォーライフとは、1985年にアメリカ人外科医ゴールドビー・クラット氏が、がん患者さんを励まし対がん協会に寄与する目的で、「がんは24時間眠らない」「がん患者は24時間がんと闘っている」をメッセージとして運動場を24時間走り続けたことから始まりました。

単なる資金集めのイベントとしてではなく、地域社会全体でがんと闘うための連帯感を育む場として世界中に大きく広がり、現在世界20ヶ国で開催されています。日本ではがん患者さんとそのご家族、友人、支援者がチームを組んで24時間にわたって歩き続けタスキをつないで絆を深め

13時から24日(土)13時まで、大分スポーツ公園「大芝生広場」で開催されました。65チームがエントリーし、リレー形式でタスキをつないで、がん撲滅を願って歩き続けました。

晴れ渡った秋空の下、「あなたは決して一人じゃない」「命に感謝」などと書かれたフラッグを掲げて1周410mのコースを笑顔で歩きました。日が暮れると、コースの両側に並んだ「ルミナリエ」にろうそくの灯りがともり、参加者の足元を優しく照らしていました。毎年のことながら、とても幻想的な風景に感動させられ心が和みました。

2日間で5,500人の参加者があり、過去最多のリレーフォーライフとなりました。今回集まった募金330万円は、がん患者支援のために役立てられます。

がん患者さんのために何か出来ないかという思いで毎年参加をしていますが、みんなでタスキをつなぎ歩き続けた24時間は何にも代えがたい貴重な経験となり、逆に多くのパワーと勇気をもらいました。これからもがんに負けることのない社会の実現のために歩き続けたいと思います。

合い、がん征圧を願うチャリティーイベントとして20ヶ所以上に広がっています。今年で4回目を迎えるリレーフォーライフ in 大分は、9月23日(金)

## 大分ヘモフィリア友の会 クリスマス会



大分ヘモフィリア友の会のクリスマス会が12月11日(日)に多目的ホールで行われました。参加者は友の会メンバーと病院スタッフの総勢17名でした。

始めに、友の会の会長と高田先生から2011年を振り返りながら挨拶がありました。昨年は3月11日に東日本大震災があり、家族や友人との絆や助け合いを感じる1年となりました。



その後アップルパイを食べながら子供達から順番に「自分にとっての今年の大ニュース」というテーマで一言ずつ話をしてもらいました。自己注射が出来るようになった話や、一輪車の検定に受かった話などを聞き、子供達の成長を感じることが出来ました。

そして最後に恒例の写真撮影。友の会のみなさんと楽しくクリスマス会が出来たことを嬉しく思います。2011年は日本にとって暗いニュースが多い年となってしまいましたが、2012年は笑顔の多い年になるといいですね。







昨年12月10日(土)19:30より大分東洋ホテルで恒例の大分記念病院忘年会が開催されました。夜になり寒さが一層厳しくなりましたが、会場は明るく華やかに着飾った職員で溢れ賑やかな宴となりました。

豊田先生の開会挨拶に続き、末友先生の乾杯の音頭でスタート。次々とテーブルに並ぶ豪華な料理を味わいながら、しばらくの間おしゃべりに花を咲かせていると、お楽しみの余興が始まりました。

まずトッパッターは、1階・栄養科新人スタッフの「セーラー服を脱がさないで」。実際のセーラー服姿が眩しく振り付けもばっちり決まっていた。続いて登場したのは2・3階看護師による、ドラマ「マルモのおきて」の主題歌「マル・マル・モリ・モリ!」の可愛らし

## 忘年会



いダンス。アンコールでは先生方も一緒に踊りました。そして最後を飾ったのは透析・臨床工学スタッフで、AKB48の「フライングゲット」をセクシーなチャイナドレスで踊ってくれました。センターを務めた男性スタッフが注目の的となりましたが、何度もアンコールに応じてくれ会場は大いに盛り上がりました。

余興の余韻を残しつつ定番のピンゴゲームで締めくくりに、最後に向井先生の閉会挨拶と万歳三唱で大盛況のうちに幕を閉じました。

今年もまた職員同士の絆を大切に力を合わせて歩んでいきましょう。



## 作りま専科

### なめたけの炊き込みご飯

【材料 2~3人分】

米 …………… 2合    しょうゆ …… 大さじ1  
なめたけ …… 1瓶(約120g)    酒 …………… 大さじ1  
ツナ缶詰 …………… 1缶

#### 〈作り方〉

- ① 米を洗っておく。
- ② 炊飯釜に米、油を切ったツナの缶詰、なめたけを入れてざっくりと混ぜる。
- ③ 調味料を入れ、炊飯器の2合の線まで水を加えて炊く。
- ④ 茶碗によそい、好みで炒りゴマをふりかけてどうぞ。  
☆きざんだ人参を入れて炊いても色よく仕上がります。



### なめたけを作ろう

#### 〈作り方〉

- ① えのきだけの根元を切り落とし、半分に切ってバラバラにほぐす。
- ② 鍋にえのきだけを入れ、塩少々を振って弱火で加熱する。
- ③ えのきだけが、しんなりしてきたら酒を加えてフタをし10分ほど蒸し煮にする。
- ④ ③にしょうゆとみりん、酢を加えて煮る。焦げ付かないように時々混ぜる。
- ⑤ 水分が適度に残っているところで火を止める。

※清潔な容器に入れ、冷蔵庫で2週間保存可能。

**えのきだけの栄養成分** えのきだけにはビタミンB群が豊富に含まれています。ビタミンB11はエネルギーの代謝を促進し、手足の末梢神経の機能や、心臓の機能を正常に保つ助けとなります。ビタミンB2は皮膚、粘膜、髪、爪の健康を保つ働きをもち、湿疹や吹き出物の予防に効果があるといわれます。

えのきだけ …… 1袋  
塩 …… ひとつまみ  
酒 …… 大さじ2  
しょうゆ …… 大さじ1.5  
みりん …… 大さじ1  
酢 …… 数滴

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。  
昨年3月の東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

昨年も「リレーフォーライフin大分」に参加しました。がん征圧を願うチャリティーイベントではありますが、大震災の被災地のことや被災された方々にも思いを馳せながら、そして1日も早く復興するようにと願いながら歩きました。自分にとって良い時間を過ごせました。

今年は辰年。「辰」のように飛躍できる年になりますように。本年もどうぞよろしくお願いたします。  
(広報委員長 堀田)

## 新入職員の紹介 12月~1月に入社した新入職員をご紹介します。



**渡邊 万智子**(看護部)  
早く仕事を覚えて1人で働けるように努力していきたいと思ひます。



**堀田 奈津貴**(栄養科)  
患者さんの健康と体調管理を考えながら一つ一つ勉強して、元気な姿を見られるように頑張りたいと思ひます。



**篠原 七重**(事務課)  
仕事と皆さんの名前を早く覚えられるように頑張ります。

## リレーフォーライフ大分 がんサロンのご案内

毎月第3日曜日 10:00~12:00

当院1階多目的ホールで開催しています。

どなたでもご自由にご参加ください。会費は不要です。

大分記念病院ホームページはこちらから

大分記念病院

検索

